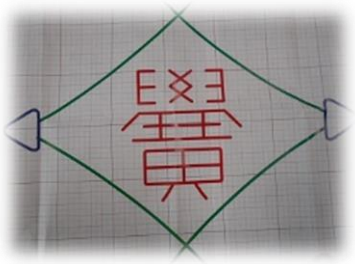
常磐小 創立 150周年 ANNIVERSARY YEAR

学校と家庭が手をつなぎ、子どもたちを見守り続けた 150 年
これまでも、そして、これからも。

４月２０日（木）、創立 150 年を記念して航空写真を撮影しました。運動場に描いたのは「校章」です。赤色や青色、緑色のエプロンを首からかけてセスナ機を待ちました。そして、かけ声に応じてエプロンを肩の高さまで持ち上げると、見事に文字が浮かび上がりました。



校章の中央にある文字は「黌」です。この字の語源を調べると、「学び舎の屋根の下にいる子を多くの手で引き上げる」という意味とのこと。

学校職員、家庭、地域が一緒に手をつないで子どもたちを引き上げる（成長させる）意味があるようです。

校章の文字のように、学校と家庭が力を合わせて子どもたちを育てることは、これまでも、「PTA 活動」として、活動内容や方法を変えながら、長い間、続けられてきました。

運動場東側にあったビオトープも、昭和 57 年に PTA から寄贈されたものでした。何年も水を流すこともできず、むき出しのコンクリートの段差が多くのけがにつながっていました。

そのビオトープが「花壇」として生まれ変わりました。これも、PTA 皆様のおかげです。春になると、チョウチョウがやってくる「バタフライガーデン」として子どもたちのお気に入りの場所です。さらに、あの「ギフチョウ」を呼ぶことができないかとカンアオイや、カタクリを植えてその日を楽しみにしています。

この令和５年度も、PTA 皆様のご理解やご協力を賜りながら、数々の「４年ぶりとなる学び」を慎重に、そして、着実に取り戻したいと考えています。

- ➢ ６月から、水泳学習を再開。例年８時間程度→年間 18 時間実施。水着や帽子の色は自由に。
- ➢10 月に、全校児童が一緒に取り組む「新しい運動会」を開催。仲間と運動する楽しさを前面に。
- ➢授業参観４回（５・７・12・２月）個人懇談２回（10・３月）実施。４月は希望制に。
- ➢ふるさと学習の充実、合唱や器楽演奏、調理実習の再開。異年齢による仲間あそびの継続。

学校と家庭が手をつなぎ、子どもたちを見守り続けた 150 年。
これまでも、そして、これからも。よろしくお願いします。

令和５年５月２７日
校長　安田　幸典